



ワークス共同作業所

〒601-8036

京都市南区東九条松田町62

TEL : 075-682-3201

FAX : 075-682-3330

第 5 6 号

<http://www.mediawars.ne.jp/~saba/>  
e-mail: saba@mediawars.ne.jp

発行日: 2011年10月4日

発行責任者: 大崎雅彦

## 新体制移行に向けての準備を始めています

門野純平

ワークス共同作業所は、来年4月に障害者自立支援法の就労支援B型と生活介護の複合型事業所に移行するので、それに向けての会議が行われています。会議にはワークスからは私も参加しまして職員を合わせて計4名が参加、その他JCILの方、自立支援事業所の方たちが5名程の計10名くらいで会議をしています。正直私には話は難しくて解らない事だらけで困っております。

しかし今後のワークス存続のためには非常に重要な話です。制度が変わると今のワークスでは無くなってしまふ危険があるみたいです。そのようなことが起きてしまえば非常に大変です。ワークスがこのまま存続していくにはどうするのが良いのかと参加者全員でアイデアを出し合って話し合いをしています。

### 主な記事

ふくしまつり予告編	P 2
スポーツセンター夏祭り	P 3
新人紹介	P 3
JCILの紹介	P 4
夏の宴会記事	P 5
旅日記	P 6
NAKAJIMA' S EYES	P 7
カレンダー予告編	P 8
あしあと	P 8
編集後記	P 8



## 福祉まつりの出店計画

椿森 信幸

今までのワークスでは、ほとんどが色付き、いろいろな味の綿菓子を3年前から、1個100円で、売ってきました。今年の福祉まつりは、今まで無かったワークス2大看板で、韓国風お好み焼（チヂミ）を焼きたいと八木君ががんばって福祉まつりの時にチヂミを焼くと言う画期的な事になりそう。チヂミを家で焼き、チヂミのタレも自分で調味料を配合して作っています。作ったタレと焼きあがったチヂミを1回ワークスで、試食をするためワークスの松の間で、チヂミを焼き八木君の特性ダレとで試してみましたが、タレの方が不評でした。タレを家で作り微妙に、工夫をこなしゴマ風味にした所ワークス内は、大好評でした。まだまだ、タレには工夫の余地があります。福祉まつりには、完璧なチヂミと完璧なタレを作り、1人でも多くの人に食べて貰うため、今も家でチヂミのタレを研究し続けているようです。行列が長く出来て暇が無いくらい、綿菓子とチヂミの2列の長蛇の列ができますように。



**綿菓子5種類  
1本  
100円**



**本場韓国のチヂミを  
食した料理人が作る  
海鮮チヂミ  
1つ200円**



## 新人紹介



7月から入所しました中村佳代さんが直筆でサインとイラストを書いてくれました。ワークスでは、主にビーズを使った小物(ストラップやブレスレット)を作っています。



## スポーツセンター夏祭り

### 岩本永子

7月30日スポーツセンターの夏祭りに、参加の売り物を、車につんで畑に取れたジャガジャガイモと綿菓子機ともに売り場へ急ぎました。現地に着いて、ワークスの置くところ場所が決めてあって早く売り場ができました。

綿菓子は、子どもさんや大人の人たちにも買っていただいて甘くて珍しく久しぶりに食べたわと喜んで下さった人や、子どもと食べておられた親子さんが目に残ります。暑い中で頑張ったジャガイモを皆売りきって帰りました。



## J C I L 本体の活動を知ろう

日本自立生活センター(JCIL)は障害のある人が人として当たり前にくらす、地域社会を目指しています。自立生活を始めたい方からの相談や、自立生活について困った事など様々な相談に対応しています。

ワークス共同作業所はJCILの活動の中から障害のある人の仕事・就労を考えるための生まれました。ワークスをはじめ皆は「本体」と呼んでいます。以下は「本体」の紹介です。どうぞよろしくお願いします。

### \*\*日本自立生活センター(JCIL)活動目的\*\*

社会から隔離され、庇護される存在。何もできない社会のお荷物として見られ、人として当たり前で生きることが奪われている障害者。障害者自身がそれに気づかず、また周囲にいる健常者自身も知らず知らずのうち社会の既成概念が差別に繋がっている。既成概念一つ一つを障害者自身が動くことによって意識を変えていくことと、何も出来ないのではなく、障害者だからこそ出来ることの気づきも含め、地域社会での自立生活を応援し、自らも社会参加していくことを主たる活動目的としている。

### \*\*日本自立生活センター(JCIL)活動内容\*\*

#### ・ピア(同士)による自立生活のための相談業務

ピア(同士)だからこそできる相談、ピア(同士)でなければできない相談、自由な社会生活を送るための様々な問題を一緒に考えていきます。



#### ・機関誌『自由人』の発行

JCILの機関誌、年四回『自由人』を発行しています。JCILの基本理念に基づいたいろいろな研究課題にとりくみます。又、会員の方々への情報提供や行事の予定や結果を紹介していきます。

#### ・ハンディキャブなどによる送迎サービス

移動は社会生活の基本なものですから、JCILは全ての人の移動する権利を獲得するために公共交通機関が本当の公共のものになるまでハンディキャブを走らせます。

#### ・障害者のための旅行の企画・実施

JCILは国内・海外、日帰りから十数日にわたる旅行まで私たちにしかできない旅行を行います。楽しく既成概念と戦う旅です。

#### ・アテンダント紹介サービス

障害者自身の生活を自らが主体となってコントロールするためにアテンダント(有料介助者)を紹介します。契約して、雇い、使うのはあなたです。

## ・『ふくしまつり』等の車いす体験コーナー



## ・各種シンポジウムの実施

詳細はWEBでご覧下さい。

<http://www.jcil.jp/> JCILで検索してください

## 今年も親睦交流会開催

伊藤 壽一

7月28日に、京都駅前の「メルバルク」にて、ワークスいや自立生活センター恒例の親睦会がありました。当日は激しい夕立で開催が危ぶまれましたが、なんとか収まり、多くの方が参加できました。会場は車いすの人に余り慣れていないようで、最初は椅子が狭苦しく置いてあり、その整理に時間がかかり、結局1時間遅れで7時より料理が運ばれました。新入所員の中村さんの「乾杯」の一声で、会食が始められました。普段あまり食べられない様な和洋折衷の豪華な料理が次々に運ばれてきて、みんな美味しかったらげ、また飲み干しました。1時間半の短い時間でしたが、皆さんと楽しいひと時を持つことができました。親睦会が揺らぐ中、これからも続けてほしいです。



## 出雲大社と石見銀山を訪れて～

伊藤さんと旅行に行きました、とっしーです。

伊藤さんに『せっかく行ったんやし旅行記書いてよー』と言ったんやけど、めんどくさそーな様子だったので代わりに書かせてもらうことになりました、とっしー目線で書くのでよろしくお



願います。5月の27～29日まで島根の出雲～石見銀山に行ってきました、ついてないことにちょうど旅行に行く日から3日間100%の降水確率に『やっぱ雨男や～最悪』と思いながら京都から新幹線で岡山まで1時間、岡山から出雲まで3時間、出雲に着いて2人は駅のそば屋へ。出雲といえばやっぱそばですしね、伊藤さんは割子そば、とっしーは月見山かけそばと、うな丼大盛りを食べました。腹も膨れてバスで出雲大社へ。出雲駅からバスで30分・・・出雲大社は街中よりは離れた場所にあるので

空気が凄いややかで自然と建物の風情を感じられる神聖な場所です。とにかく出雲大社

といえば縁結び！縁結びのお守り買って絵馬に願いを込めて木に結んだ、伊藤さんは『おみくじだけでいい』とのことでした。『何か縁がありますように』と祈りながら1日目のお宿に向かった。早速2人で温泉へ。温泉がおわって夕食、ビールを頼んだ、伊藤さんと夕食を食べて面白かったのが朝は米を全く食べないのだが、夜は茶碗3杯ぐらい食べておられるのにびっくりした。夜だけ米を食べる時間と決めているらしい。夕食も食べ終わり「さあ伊藤さん、これから飲むで～」というところで伊藤さんはもう横にな



石見銀山の様子

なって朝まで爆睡してました。どうやらお酒には弱いらしい。2日目は雨の中、石見銀山へ。石見銀山がある龍源寺間歩まで往復2時間のトレッキング、途中途中で美味しい食べ物屋に誘惑されながらひたすら歩く。やっと着いた。石見銀山の入り口は地上とは違う世界に行くような場所でした、赤みがかかった洞窟の色、まっすぐ背を伸ばして立つことができない空間、普段の生活では体験できない空間にもものすごい興奮した。やっぱり旅はたまらない。俺にとって旅は自分が思い描いてる非日常的な生活を唯一できる場所、時間、できればずっと旅を



していきたい。石見銀山のなかでふと考えた。石見銀山に入口があり出口があるように、東日本大震災で被災した皆さんにもきつと復興へと続く道ができる、早く光がみえる生活が訪れますようにと。石見銀山の出口と続く電灯の光が東北の皆さんへの希望の光と重なってみえた、そんなふうなことを考えた今回の旅でした。伊藤さん、お供頂きありがとうございました。

## NAKAJIMA' S EYES

### 夏の総括

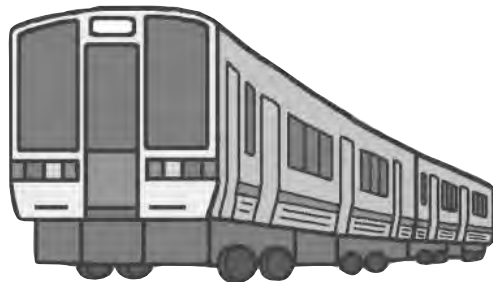
近鉄の待合室のエアコンなどが止められ、かなり暑い夏だった。  
エスカレーターも止められていた。

各家庭や地域で省エネ運動が盛んだった夏。  
省エネ、省エネといわれても暑いものは暑い。  
今年の夏はあの原発事故で、冷暖房等の電力を使い過ぎてはいけないということ、再認識させられる夏でもあった。

扇風機だけで、なんとか暑さは凌いだが、暑くてテレビを観る気もしなかった。  
テレビといえば、2011年07月24日(日)アナログ放送が終わった。  
今までの録画機が使えない。  
これって、我々貧乏人には応えるよな。

政治家達は、これからのエネルギー対策をどう解決するのだろうか？  
冬が段々近づき、寒くなってくる。  
今度の冬の暖房対策はどうすればよいのだ？  
冬の自宅は、北風が「ビュービュー」と吹き、愛宕嵐が下りてくる。  
寒くてもエアコンが使えない、身内が電気代が高くつくと使わせない。  
灯油も碌に買わせない。  
電気毛布を敷き、毛布を3枚も着なければならぬ。  
これでは重くて身動きが出来ない。

私にとって、どんなに暑くても、冬の寒さよりも、夏の暑さの方が我慢できるし、動けるだけマシである。  
とにかく、暑かった夏は終わり、暫くはエアコンのいらぬ季節がやってくる。



近日発売予定



好評のワークスオリジナルカレンダーが今年も、着々と完成日に近づきました。去年より、素敵に仕上がりが、とっても良く！！！！多くのお買い上げを所員一同心からお待ち申し上げます。お値段は、去年と同じく¥500で販売させていただきます。

### あしあと

2011-07-08 ほていまつり  
2011-07-13 バリアフリーファーム  
2011-07-17(日) 藤森手作り市  
2011-07-20(水) 台風による大雨洪水警報でワークス休業  
2011-07-21(木) バリアフリーファーム  
2011-07-28(木) 夏の宴会 18:00～ メルパルク2F  
2011-07-31(日) 京都市障害者スポーツセンター夏祭りに出店  
2011-08-09(火) バナナの寄付  
8月11日(木)～16日(水) ワークス夏期休暇

### 編集後記

どのような原稿を書いてもらうかは比較的早く決まりましたが、原稿を貰ってからは、やはり久々の編集だったのでどのように進めていこうかがスッカリ記憶から消えていました。さらに今回はイラストレーターでの編集を初めてしたので、何せ初めてすることや新しいことをするのが非常に大変なので、予想通り苦労しました。

木偶